

社協だより

かしわ

2024年 冬号 NO.100



発行者：生坂村社会福祉協議会

TEL 69-3000 FAX 69-3091

印刷：有限会社花岡印刷

<http://www.ikusaka-shakyo.or.jp/>

E-mail: info@ikusaka-shakyo.or.jp



ホームページ
二次元コード



社協だより「かしわ」は、共同募金の配分金で発行されています。

元気塾

元気塾は今年度、はるかぜに場所を移し開催しています。家庭的な雰囲気の中で様々な取り組みを行っています。はるかぜ活用の一つの核となるよう取り組んでいきます。

秋の外出は思い切って元気塾初の県外へ、糸魚川市まで足を延ばしてきました。

元気塾では、様々なプログラムを考え皆様をお迎えいたします。

お問合せ ☎69-11122



はるかぜ

を活用して開催



外出は

糸魚川へ



10/31

居場所

つながりの場づくり事業

みつけた

B&G海洋センターにて16時より開催されました。

今回は放課後学童支援の一環として、軽スポーツ体験3種、ステンドグラス作りを行い、児童館を利用されている皆さんに楽しんで頂きました。

また、夕食支援として焼きそば弁当を1家族2つずつ提供いたしました。

軽スポーツ体験から夕食のミカタまで



災害避難時の研修



10月31日 高齢者センター

日赤奉仕団分団長をはじめとする地域の方々を対象に、日本赤十字社の講師から災害時の避難所のあり方や過ごし方などをゲーム形式で学びました。

幸いにして生坂村では避難所を活用する大きな災害に見舞われていませんが、今後と

この地域で大きな災害が発生するかわかりませんが、いざ災害時に大勢の人が押しかけても、全体を調和・調整できる人がいなければ、さらに悪循環を生じる可能性が懸念されます。避難された方々をスムーズに受け入れ、安全に過ごせる環境づくりが大切なのだと思いました。

そして、病気の方、高齢の方、幼児やペットも同じ場所で過ごせることを前提に、皆が協力していけるのが避難所の姿なのだ分かりました。

避難所体験ゲームは日本赤十字社の商品のため、地区での研修を希望の場合は社協内日赤事務局まで問い合わせをお願いします。



デイサービスだより



デイサービスでは、利用者様に秋ならではの風物を楽しんでいただけるよう、「ものづくり」「おやつレク」「外出」を企画しました。

「ものづくり」は、生坂名物のぶどうと柿をあしらった飾りものをお一人お一人につくっていただきました。同じものを作っても、それぞれの個性が出た作品に仕上がりました。

「おやつレク」は、ホットケーキを職員と共に調理し、好みのソースをかけて召し上がっていただきました。

また、「外出」は、毎年恒例の池田町の大力エデまで出かけました。



お知らせ・報告 掲示板

ご寄付 (令和6年9～10月)

「故 塩島幸男さんを送る会」ご一同様

10,000 円

そのほか多くの方々からお米や野菜のご寄付をいただき、社協の事業に活用させていただきました。心より感謝申し上げます。

日赤義援金

令和6年能登半島大雨災害義援金
9～10月 募金額 66,638 円

募金箱設置場所

やまなみ荘、道の駅、かあさん家、社協

※ 寄付金控除等の税制上の優遇措置が受けられます。手続に必要な受領書の発行を希望される方は、社協窓口にお越しください。

お問合せ：☎ 69-3000 (社協事務局)

表紙の写真

おかげさまで、社協広報誌「かしわ」も100号を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

この機会に、過去の「かしわ」をひと通り眺めてみましたが、初期には手書き文字をそのまま印刷するなど、今とは違う紙面に時代の流れを感じました。

これからも、少しでも村民の皆様のお役に立つ記事を掲載できるよう、精進して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

在宅生活を支える 配食サービス 有償運送サービス

食事や移動にお困りの方は、社協の上記サービスをご利用ください。

対象は、原則として障がいをお持ちの方や、65歳以上の方となりますが、まずは担当までお問い合わせ下さい。

担当：地域福祉協働係

☎ 69-1122

フードバンク 食料寄付募集

今年も多くの方にお米のご寄付をいただき、感謝申し上げます。引き続き食料が必要な方に支援の手が届くよう、下記の食品のご寄付を受け付けております。

- ・ 常温保存が可能な食品
(賞味期限まで1ヶ月以上あり、包装が破損していないもの)
- ・ お米(もみ、玄米、白米)
(令和5年産以降で虫食い等のないもの)

※社協にお持ち込みいただくのが難しい場合は、受取りに伺いますのでご連絡下さい。

お問い合わせ先 生坂村社協事務局
電話 69-3000 FAX 69-3091



編集後記 暑い暑いと言っていたのも昨日のことのようですが、周りの山も紅葉から落葉へと変化し、寒さが厳しくなって参りました。昨今は温暖な気候が続く春秋が短く、寒暖の差の激しさに体も戸惑っているようです。皆様もどうかご自愛の上、健やかに過ごしてください。